

BCG予防接種について【説明書】

予防接種法に基づき、BCGの定期予防接種を行います。この説明書をよく読み、予防接種の必要性や副反応について理解したうえで接種してください。わからないことは、接種を受ける前に医師に質問しましょう。

1 結核について

結核は、結核菌によって引き起こされる病気です。主に肺で発病しますが、リンパ節、脊椎、腸など、身体の様々な部分で発病します。咳やくしゃみに含まれる結核菌を吸い込むことによって感染します。

2 副反応について

リンパ節の腫れや局所・全身の皮膚症状などの比較的軽度な局所反応は一定の頻度で見られますが、まれに骨炎や全身性のBCG感染症、アナフィラキシーなどの重大な副反応の報告があります。

接種後10日～4週頃に、接種した部位が赤く腫れたり、膿んだりします。その後かさぶたができていますが、通常2～3か月でなおります。これはBCG接種により免疫がついたために起こる正常な反応です。

接種後3か月を過ぎても治らないような場合は医師にご相談ください。まれにわきの下にしこりがでることがあります。自然に治りますが、症状の改善がみられない場合は早めに医師の診察を受けてください。

●コッホ現象

BCG接種の針あとは、通常は接種後10日前後経たないと膨らんできません。しかし、ごくまれに接種後約3日以内で、接種部位が赤くなる、腫れる、膿むといった反応をおこすことがあります。このような反応をコッホ現象といいます。

コッホ現象がみられた場合は、接種医療機関にお問合せください。

(集団接種の場合 複十字病院健康管理センター 042-491-4712)

3 対象者

接種日時点で小平市に住所を有する、生後1歳に至るまで（1歳の誕生日の前日まで）

標準的な接種期間は、生後5か月から8か月に至るまで

※小平市から転出された方は、転入先の自治体で予診票をお受け取りください。

4 接種方法

小平市の「BCG予防接種予診票」に記入し、予診のうえ、規定量を専用のスポイトで滴下し、スタンプ方式のBCG用管針を用いて上腕の2か所に押し付けて経皮接種します。

5 接種費用

自己負担なし

6 接種場所・日程

(1) 集団接種

別紙の「小平市健康センターBCG集団接種日程表」をご覧ください。

(2) 個別接種

一部の医療機関では個別接種を行なっています。希望する場合は、小平市健康推進課へお問合せください。

7 持ち物

母子健康手帳、BCG予防接種予診票

8 次の項目に該当する方は接種を受けられません。

- (1) 体温37.5度以上の発熱をしている方。
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方。
- (3) このワクチンの成分によって、アナフィラキシー(通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応)をおこしたことがある方。
- (4) 免疫機能に異常のある疾患を有する方又は免疫抑制をきたす治療を受けている方。
- (5) 結核にかかったことがある方。
- (6) 外傷等によるケロイドの認められる方。
- (7) その他、医師の判断により予防接種を行うことが不適当な状態にある方。

9 次の方は接種前に医師にご相談ください。

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患を有する方。
- (2) 過去に予防接種で2日以内に発熱のみられた方又はアレルギーを疑う症状があった方。
- (3) 過去にけいれんの既往のある方。
- (4) 過去に免疫不全と診断されたことのある方又は近親者に先天性免疫不全症の者がいる方。
- (5) 接種しようとするワクチンの成分で、アレルギーをおこすおそれのある方。
- (6) 過去に結核患者との長期の接種がある方又はその他結核感染の疑いのある方。

10 接種前の注意

- (1) 接種前日は入浴やシャワーをさせ、体を清潔にしましょう。
- (2) 予防接種は、体調の良い日に受けてください。
- (3) 予診票は、医師が接種の可否を判断するための大切な情報となるので、正確に記入してください。
- (4) 接種前日の入浴後は両腕の肩からひじにかけて何も塗らないでください。(副腎皮質ステロイド剤の軟膏、プロトピック軟膏、保湿クリーム、ワセリン等)

11 接種後の注意

- (1) 接種後30分間はショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- (2) 接種後生ワクチンでは2～3週間は副反応が現れる場合があります。万一、高熱やおう吐など異常な副反応がでた時は、早めに接種医の診察を受けてください。
- (3) 接種当日は入浴をしても差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。接種部位は清潔に保ってください。また、いつも通りの生活をし、はげしい運動は避けてください。
- (4) 副腎皮質ステロイド剤の軟膏、プロトピック軟膏、保湿クリーム、ワセリン等は、接種部位には接種後3カ月程度塗らないでください。

12 予防接種健康被害救済制度(市にご相談ください)

一般的に、ワクチン接種では、副反応による健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が、極めて稀ではあるものの避けることができないことから、救済制度が設けられています。

救済制度では、予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)を受けることができます。

問合せ 小平市健康福祉部健康推進課

〒187-0043 小平市学園東町1-19-12 (小平市健康センター内)

電話: 042-346-3700 Eメール: vaccination@city.kodaira.lg.jp